

人口10万人当たりの新型コロナウイルス陽性者数

- 都道府県別の新型コロナウイルス陽性者数（2022年9月26日時点の累積）をみると、群馬県は全国で21番目に多い（図表1-①）。陽性者数の多寡が人口規模の大小によることは想像に難くないため、人口10万人当たりの陽性者数でみてみると、群馬県は36番目となる（図表1-②）。
- 群馬県のデータを保健所管轄区域別で分けてみると、陽性者数では高崎が最多で（図表2-①）、人口10万人当たりの陽性者数では太田が最多（図表2-②）となっている。吾妻はどちらのデータでも最少である。
- 新型コロナウイルスは人から人へと感染が拡大するため、陽性者数は人口密度と関係があると考えられる。そこで、都道府県別と県内保健所管轄区域別で、人口10万人当たりの陽性者数と人口密度の関係を分析した。その結果、いずれも人口密度が高いほど人口10万人当たりの陽性者数が多いという関係がみられた（図表3、4）。

図表1 都道府県別の陽性者数
(22年9月26日時点の累積)

①陽性者数		②人口10万人当たりの陽性者数			
順位	都道府県	人数	順位	都道府県	人数
1	東京都	3,149,428	1	沖縄県	33,946
2	大阪府	2,083,423	2	大阪府	23,574
3	神奈川県	1,476,070	3	東京都	22,420
4	愛知県	1,351,905	4	福岡県	20,912
5	埼玉県	1,181,264	5	佐賀県	19,236
(中略)			(中略)		
21	群馬県	233,720	36	群馬県	12,053
(以下略)			(以下略)		
全国		21,096,208	全国		16,724

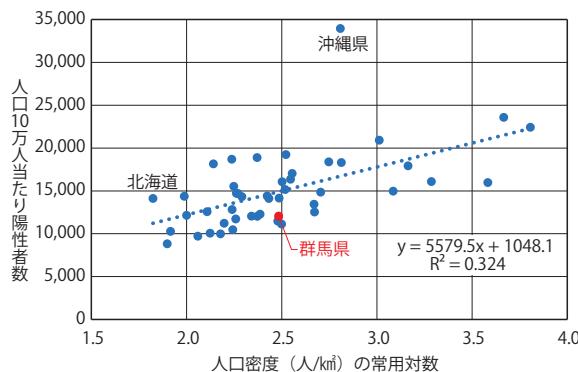
資料：厚生労働省「データからわかる－新型コロナウイルス感染症情報－」、総務省「国勢調査（2020年）」を基に当研究所作成。

図表2 県内保健所管轄区域別の陽性者数
(22年9月26日時点の累積)

①陽性者数		②人口10万人当たりの陽性者数			
順位	区域	人数	順位	区域	人数
1	高崎	44,164	1	太田	14,517
2	前橋	39,226	2	伊勢崎	13,647
3	伊勢崎	33,832	3	館林	12,178
4	太田	32,375	4	桐生	11,997
5	館林	21,768	5	高崎	11,841
6	桐生	18,726	6	前橋	11,810
7	渋川	11,408	7	藤岡	10,563
8	利根沼田	7,130	8	渋川	10,316
9	藤岡	6,975	9	利根沼田	9,265
10	富岡	5,679	10	安中	9,121
11	安中	5,008	11	富岡	8,336
12	吾妻	4,164	12	吾妻	8,067

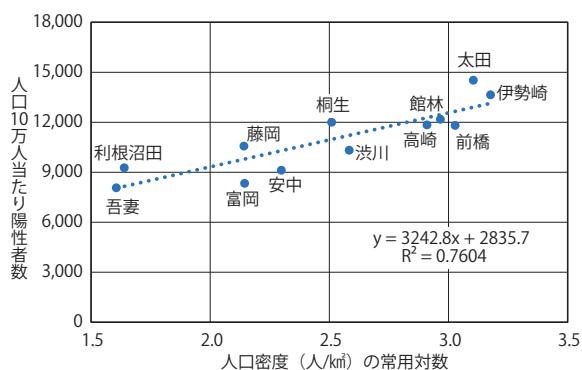
資料：群馬県「県内における発生状況」、総務省「国勢調査（2020年）」を基に当研究所作成。

図表3 都道府県別の人10万人当たり陽性者数と人口密度の関係



資料：厚生労働省「データからわかる－新型コロナウイルス感染症情報－」、総務省「国勢調査（2020年）」を基に当研究所作成。
注：人口密度は地域間で差が大きいため常用対数に変換した。

図表4 県内保健所管轄区域別の人10万人当たり陽性者数と人口密度の関係



資料：群馬県「県内における発生状況」、総務省「国勢調査（2020年）」を基に当研究所作成。
注：人口密度は地域間で差が大きいため常用対数に変換した。

(担当：稻田純也)